

## 特定疾患治療研究事業対象疾患一覧表(56疾患)

疾病番号	疾 患 名
01	・ベーチェット病
02	・多発性硬化症
03	・重症筋無力症
04	・全身性エリテマトーデス
05	・スモン
06	・再生不良性貧血
07	・サルコイドーシス
08	・筋萎縮性側索硬化症
09	・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎
10	・特発性血小板減少性紫斑病
11	・結節性動脈周囲炎 (1)結節性多発動脈炎 (2)顕微鏡的多発血管炎
12	・潰瘍性大腸炎
13	・大動脈炎症候群
14	・ビュルガー病
15	・天疱瘡
16	・脊髄小脳変性症
17	・クローン病
18	・難治性の肝炎のうち劇症肝炎
19	・悪性関節リウマチ
20	・パーキンソン病関連疾患 (1)進行性核上性麻痺 (2)大脳皮質基底核変性症 (3)パーキンソン病
21	・アミロイドーシス
22	・後縫靭帶骨化症
23	・ハンチントン病
24	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)
25	・ウェグナー肉芽腫症
26	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症
27	・多系統萎縮症 (1)線条体黒質変性症 (2)オリーブ橋小脳萎縮症 (3)シャイ・ドレーガー症候群
28	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)
29	・膿胿性乾癬
30	・広範脊柱管狭窄症
31	・原発性胆汁性肝硬変
32	・重症急性膵炎
33	・特発性大腿骨頭壊死症
34	・混合性結合組織病
35	・原発性免疫不全症候群
36	・特発性間質性肺炎

疾病番号	疾 患 名
37	・網膜色素変性症
38	・プリオൺ病 (1)クロイツフェルト・ヤコブ病 (2)ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病 (3)致死性家族性不眠症
39	・肺動脈性肺高血圧症
40	・神経線維腫症
41	・亜急性硬化性全脳炎
42	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群
43	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症
44	・ライソゾーム病 (1)ライソゾーム病 (2)ファブリー病
45	・副腎白質ジストロフィー
46	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
47	・脊髄性筋委縮症
48	・球脊髄性筋委縮症
49	・慢性炎症性脱髓性多発神経炎
50	・肥大型心筋症
51	・拘束型心筋症
52	・ミトコンドリア病
53	・リンパ脈管筋腫症(LAM)
54	・重症多形滲出性紅斑(急性期)
55	・黄色靭帯骨化症
56	・間脳下垂体機能障害 1. PRL分泌異常症 2. ゴナドトロピン分泌異常症 3. ADH分泌異常症 4. 下垂体性TSH分泌異常症 5. クッシング病 6. 先端巨大症 7. 下垂体機能低下症

注) 平成21年10月より疾患番号46～56の11疾患が追加されました。

## 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療(内訳)

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	40 人	・膿疱性乾癥	2 人
・多発性硬化症	24 人	・広範脊柱管狭窄症	1 人
・重症筋無力症	28 人	・原発性胆汁性肝硬変	8 人
・全身性エリテマトーデス	87 人	・重症急性膵炎	1 人
・スモン	0 人	・特発性大腿骨頭壞死症	21 人
・再生不良性貧血	25 人	・混合性結合組織病	27 人
・サルコイドーシス	36 人	・原発性免疫不全症候群	0 人
・筋萎縮性側索硬化症	11 人	・特発性間質性肺炎	9 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	82 人	・網膜色素変性症	4 人
・特発性血小板減少性紫斑病	37 人	・プリオント病	3 人
・結節性動脈周囲炎	15 人	・肺動脈性肺高血圧症	2 人
・潰瘍性大腸炎	62 人	・神経線維腫症	2 人
・大動脈炎症候群	11 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・ビュルガー病	4 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・天疱瘡	6 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3 人
・脊髄小脳変性症	24 人	・ライソゾーム病	0 人
・クローン病	33 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	8 人	・脊髄性筋委縮症	0 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	72 人	・球脊髄性筋委縮症	0 人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	2 人
・アミロイドーシス	6 人	・肥大型心筋症	0 人
・後縫帯骨化症	18 人	・拘束型心筋症	0 人
・ハンチントン病	1 人	・ミトコンドリア病	0 人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	6 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0 人
・ウェゲナー肉芽腫症	6 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0 人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	7 人	・黄色鞘帯骨化症	0 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	32 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。